

令和6年度「健康しが」活動創出支援事業 補助金助成団体の活動報告

一般社団法人 蜜柑の木

「困難を抱えた若者が自分らしく過ごせる居場所事業」

◆事業概要

不登校などで困難を抱える若者が安心して過ごせる居場所を提供。
フリースペース、子ども食堂、お仕事体験などを通じて、社会とのつながりや自信の回復を支援。

◆活動成果

- ・計80名と面談、20名が登録
- ・不登校等の若者が活動当日の朝起きられるようになる、前日の夜更かしを辞めるなど生活習慣の改善
- ・子ども食堂では調理経験を通じた自己肯定感の向上
- ・不登校の利用者が高校卒業・大学合格を果たす
- ・5名のサポートボランティアが継続的に参加

◆今後の展望

- ・専門団体「隠れ家琥珀」を設立し、スタッフ・ボランティアを増員し支援体制を強化。
- ・相談窓口や保護者会の継続実施。フリースクールや支援機関との連携強化。



代表理事 永峰さま

ぼくらのアカデミー

調べて、試して、発表できる探究型の自習室「NEO寺子屋」プロジェクト

◆事業概要

滋賀県愛荘町の旧寺院を活用し、小学生の放課後の居場所「放課後自習寺」を開設。探究型学習や自由な遊びを通じて、自己調整力や社会性を育むサードプレイスを提供。地域の大人や高校生と連携し、誰もが安心して過ごせる場づくりを進める。

◆活動成果

- ・地域に開かれた安心できる居場所・サードプレイスを実現し、子ども同士の関わりや自己表現の機会が広がり、主体性や社会性が向上
- ・子どもの来場者数は最大77名/日、平均42名/日（6月時点）
- ・「秋祭りスワイサ」には延べ300名が来場

◆今後の展望・継続方法

- ・NPO法人化を進行中。企業や個人からの寄付・協賛による資金確保体制を整備。
- ・寺の空き部屋を活用した**「習い事運営モデル」を推進。
↳現在2組が入居、年内に10組へ拡大予定。賃料と授業料で寺の維持費の自走化を目指す。



代表 綿谷さま

特定非営利活動法人 こどもソーシャルワークセンター 生きづらさを抱える若者を世の光にプロジェクト

◆事業概要

虐待・貧困・いじめ・不登校・発達課題などを抱える子どもを既存の制度に縛られず、地域の中で子どもを支える活動やモデル事業づくりを行う。

◆活動成果

- ・対象となる若者6名に対し、担当職員が継続的にヒアリングを実施
- ・一人ひとりに合わせた「オーダーメイド型支援」を実施
- ・夜間中学入学やボランティア活動への参加を促進し、結果として、1名が夜間中学への入学を決定
→過去に自殺未遂や予告を繰り返していたが、入学という新たな目標を持ったことで希死念慮が大幅に減少し、精神的な安定が見られた

◆今後の展望・事業継続方法

- ・夜間中学の取組を、滋賀県の自殺・ひきこもり対策制度に組み込み、恒常的に運用できる仕組み整備
- ・生きづらさを抱える若者が「健康しが」参画団体でのボランティア活動を継続できるよう支援
- ・活動継続に向けて、賛助金の募集やボランティアによる資金集めを行い、持続可能な支援体制を構築



理事長 幸重さま